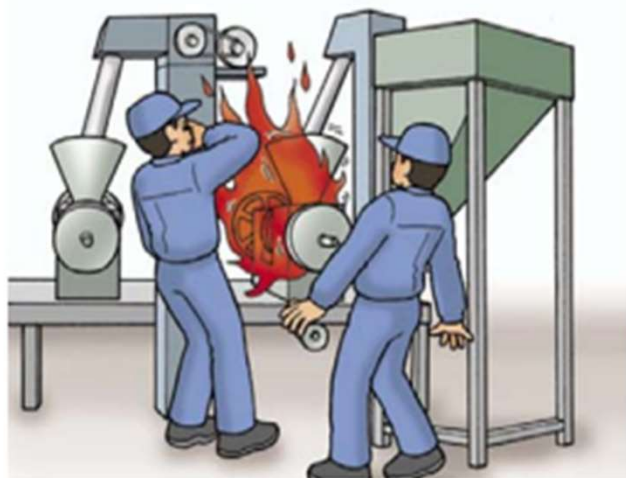


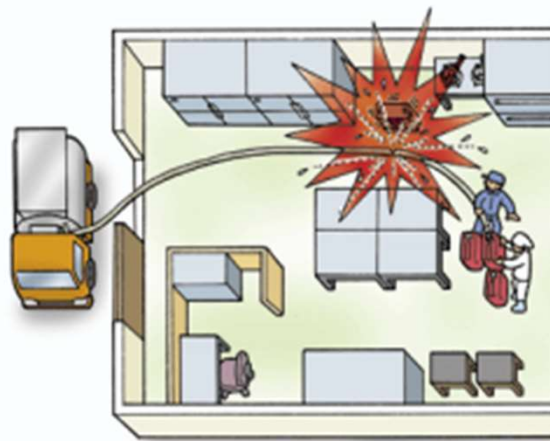
大手製造工場における事故事例の教訓から学びます。

『件数は少ないが、社会に与える影響（被害）は大きい！！ 安全・安心は最優先』

爆発火災事故発生につながる危険性の抽出を行い、低減措置を検討します。



アルミニウムとマグネシウムの合金を粉碎加工する作業中に粉じん爆発が発生し、作業員2名が死亡した。



事業場内で灯油をポリタンクに給油中にホースが破損し、噴き出した灯油がストーブの火により引火して火災となった。



集合住宅の室内改装工事において、接着材に含まれていた有機溶剤の蒸気に引火爆発し、労働者3人が休業災害を負った。

厚労省 職場の安全サイトより

爆発火災事故から学ぶには、
『自社で起さないために』
●なぜ起きたか、防ぐためにを考える。

**機器・設備は
故障するを認識**

**担当者による
作業手順の遵守**